



2012年3月期 第1四半期決算説明会

井関農機株式会社

代表取締役 多田 進
専務取締役

2011年8月19日



目次

1. 2012年3月期 第1四半期業績の概要
2. 国内外市場の動向
3. 2012年3月期 業績予想
4. トピックス

※当社四半期業績と季節性の留意点

1. 連結各社の決算期

	決算期	(第1四半期)
販売会社 12社、営業関連会社 1社、 及び井関農機(常州)有限公司	12月31日	(1~3月)
井関農機 及びその他関連会社 10社	3月31日	(4~6月)

2. 売上高の季節性 (2011/3期実績)

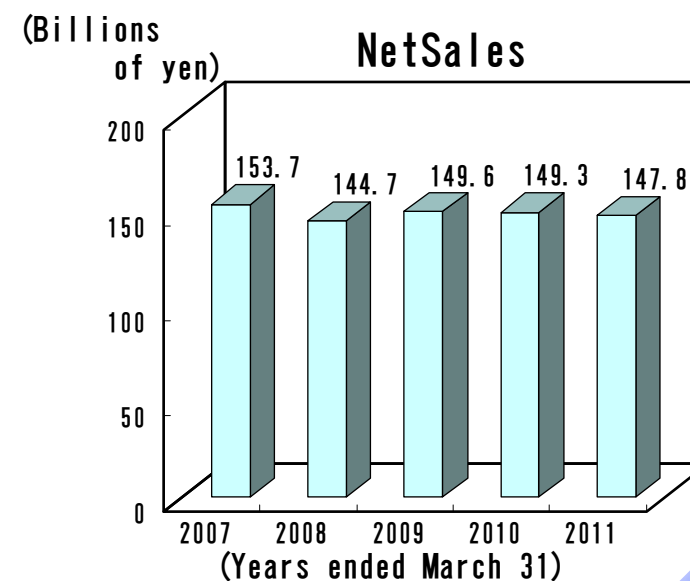
(単位：億円)

	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q	計
国内	292	371	321	303	1,287
海外	40	51	46	54	191
計	332	422	367	357	1,478
(%)	(22)	(29)	(25)	(24)	(100)

(特徴) ・ 第1四半期の売上高が他の四半期よりも少ない。



1. 2012年3月期 第1四半期業績の概要



第1四半期業績の概要

(単位：億円、%)

科 目	10/3期 1Q	11/3期 1Q		12/3期 1Q		前年 同期比 増減	12/3期 1Q 計画	計画比 増減
			比率		比率			
売上高	295	332	100.0	323	100.0	△ 9	310	+13
(国内)	260	292	87.8	264	81.6	△28	266	△ 2
(海外)	35	40	12.2	59	18.4	+19	44	+15
売上総利益	107	118	35.5	111	34.4	△ 7	107	+ 4
販管費	103	105	31.6	103	31.9	△ 2	104	△ 1
営業利益	4	13	3.9	8	2.5	△ 5	3	+ 5
経常利益	4	10	3.1	9	2.8	△ 1	2	+ 7
四半期純利益	4	8	2.5	9	3.0	+ 1	△ 1	+10

国内売上高の内訳

(単位：億円)

		10/3期 1Q	11/3期 1Q	12/3期 1Q	前年 同期比		12/3期 1Q 計画	計画比 増減
					増減	備考		
農業 関連事業	農業機械							
	整地機	74	75	81	+ 6	トラクタ：+7 耕うん機：△1	81	0
	栽培機	33	33	25	△ 8	田植機：△8	25	0
	収穫調製機	39	45	35	△10	コンバイン：△7 乾燥機他：△3	35	0
	計	146	153	141	△12		141	0
	作業機・部品	55	73	60	△13	作業機：△13	61	△ 1
	施設工事	3	8	7	△ 1		7	0
	その他農業関連	56	58	56	△ 2		57	△ 1
	計	260	292	264	△28		266	△ 2
	その他事業 計	0	0	0	0		0	0
合計	260	292	264	△28		266	△ 2	

海外売上高の内訳

(単位：億円)

	10/3期 1Q	11/3期 1Q	12/3期 1Q	前年 同期比 増減	備 考	12/3期 1Q 計画	計画比 増減
北 米	8	14	14	0		9	+ 5
欧 州	11	12	15	+ 3	トラクタ：+2 芝刈機：+1	11	+ 4
アジア	3	2	0	△ 2	コンバイン：△2	0	0
中 国*	7	6	25	+19	田植機：+18	18	+ 7
オセアニア	1	1	1	0		1	0
製品 計	30	35	55	+20		39	+16
部品その他	5	5	4	△ 1		5	△ 1
合 計	35	40	59	+19		44	+15

*中国の売上は1～3月の実績

営業利益

(単位：億円、%)

科 目	10/3期 1Q	11/3期 1Q		12/3期 1Q		前年 同期比 増減	12/3期 1Q 計画	計画比 増減
			比率		比率			
売上高	295	332	100.0	323	100.0	△ 9	310	+13
売上原価	188	214	64.5	212	65.6	△ 2	203	+ 9
売上総利益	107	118	35.5	111	34.4	△ 7	107	+ 4
販管費	103	105	31.6	103	31.9	△ 2	104	△ 1
営業利益	4	13	3.9	8	2.5	△ 5	3	+ 5

※前年同期比増減内訳

[売上総利益]	・ 売上減少による粗利益減少	: △6
	・ 為替売上レート差	: △1
	・ 原材料価格値上り	: △1
	・ その他（製造経費減少+2、その他△1）	: +1
[販管費]	・ 販管費減少（人件費△1、その他経費△1）	: △2

経常利益、四半期純利益

(単位：億円)

	10/3期 1Q	11/3期 1Q	12/3期 1Q	前年 同期比 増減	12/3期 1Q 計画	計画比 増減
営業利益	4	13	8	△ 5	3	+ 5
金融収支	△ 3	△ 3	△ 2	+ 1	△ 2	0
その他営業外収支	3	0	3	+ 3	1	+ 2
経常利益	4	10	9	△ 1	2	+ 7
特別利益	0	1	0	△ 1	0	0
特別損失	0	△ 6	△ 3	+ 3	△ 3	0
税前利益	4	5	6	+ 1	△ 1	+ 7
税、税調整額	0	3	3	0	0	+ 3
四半期純利益	4	8	9	+ 1	△ 1	+10

※前年同期比増減内訳

[営業外収支]	為替評価損益の好転（前年同期差損△2）	: +3
	金融収支改善他	: +1
[特別損益]	資産除去債務会計基準の適用など発生減少	: +2

バランスシート

(単位：億円)

科 目	09/6	10/6	11/6	前年同期末比 増 減	11/3
現金・預金	62	80	75	△ 5	57
売掛債権	302	302	326	+24	287
棚卸資産	442	425	423	△ 2	410
(うち製品在庫)	(288)	(280)	(276)	(△ 4)	(278)
その他流動資産	32	33	32	△ 1	33
固定資産	908	901	913	+12	905
資産合計	1,746	1,741	1,769	+28	1,692
支払手形・買掛金	388	378	389	+11	420
借入金・社債	599	529	549	+20	435
その他負債	235	270	275	+ 5	291
(負債計)	(1,222)	(1,177)	(1,213)	(+36)	(1,146)
純資産	524	564	556	△ 8	546
(うち利益剰余金)	(45)	(69)	(61)	(△ 8)	(52)
負債・資本合計	1,746	1,741	1,769	+28	1,692



2. 国内外市場の動向

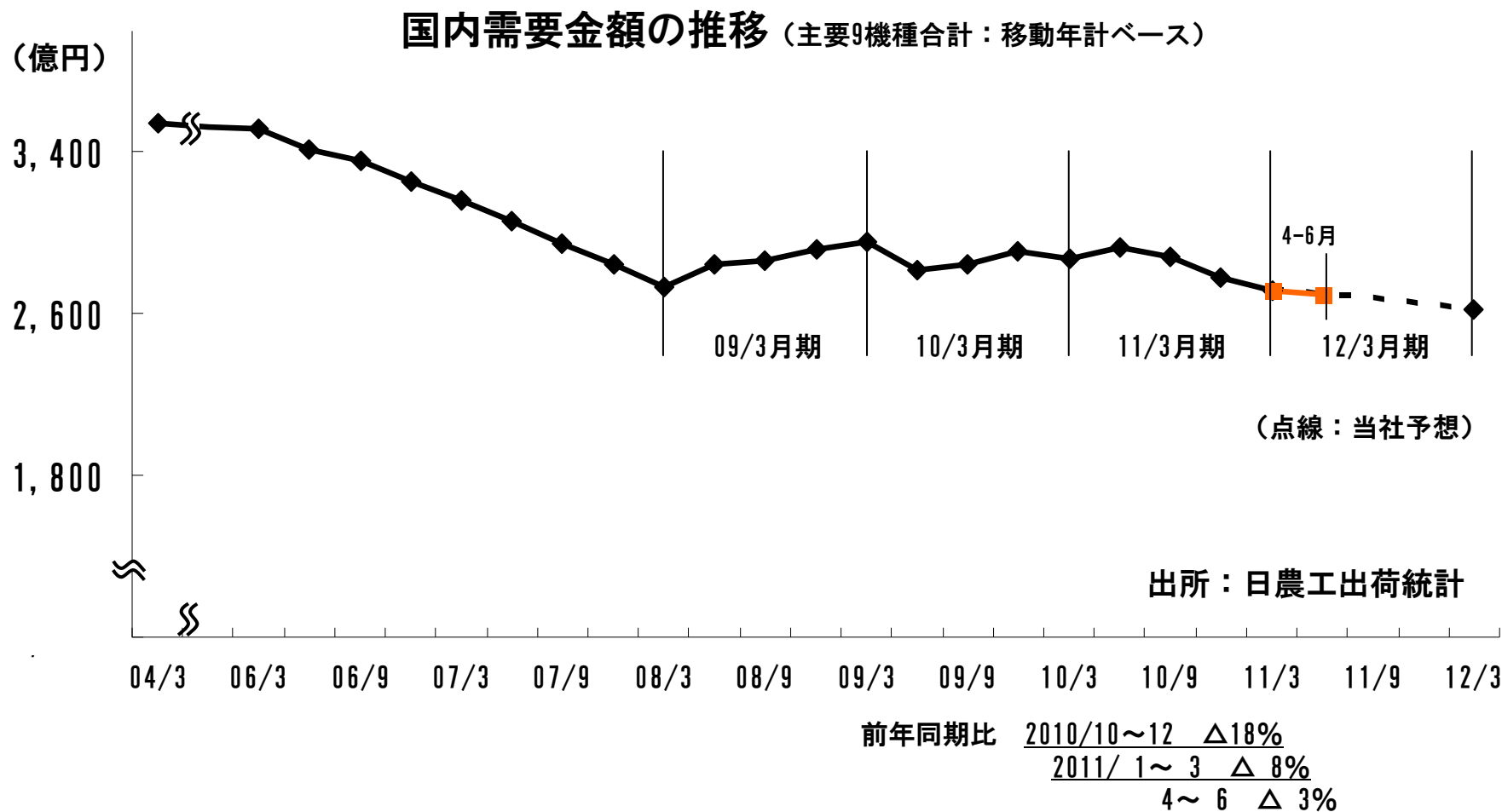


さなえ PZ63



国内農機需要の推移

農機需要の推移（見通し）



国内農機市場の状況

国内農機業界出荷と当社実売

※主要9機種金額ベース、伸長率（単位：％）

出所：日農工出荷統計

	移動年計			年累計			2011年1～6月内訳	
	08年7月～ 09年6月	09年7月～ 10年6月	10年7月～ 11年6月	09年1月～ 6月	10年1月～ 6月	11年1月～ 6月	1月～3月	4月～6月
業界（出荷）	99	104	92	93	102	94	92	97
当社（実売）	99	100	96	92	104	95	90	99

国内農業トピックス

○農業者戸別所得補償制度 加入申請状況（速報値）

- ・ 5県を除いた件数で、昨年のモデル対策の支払件数を約6万件（6%）上回る。

農業者戸別所得補償制度加入申請状況（速報値）

	申請件数	H22支払件数	伸率
合計（5県除く）	1,048,630	986,567	6.3%
（参考：全国計）	1,166,259	1,163,090	0.3%

※6月30日現在 5県は8月末まで延長

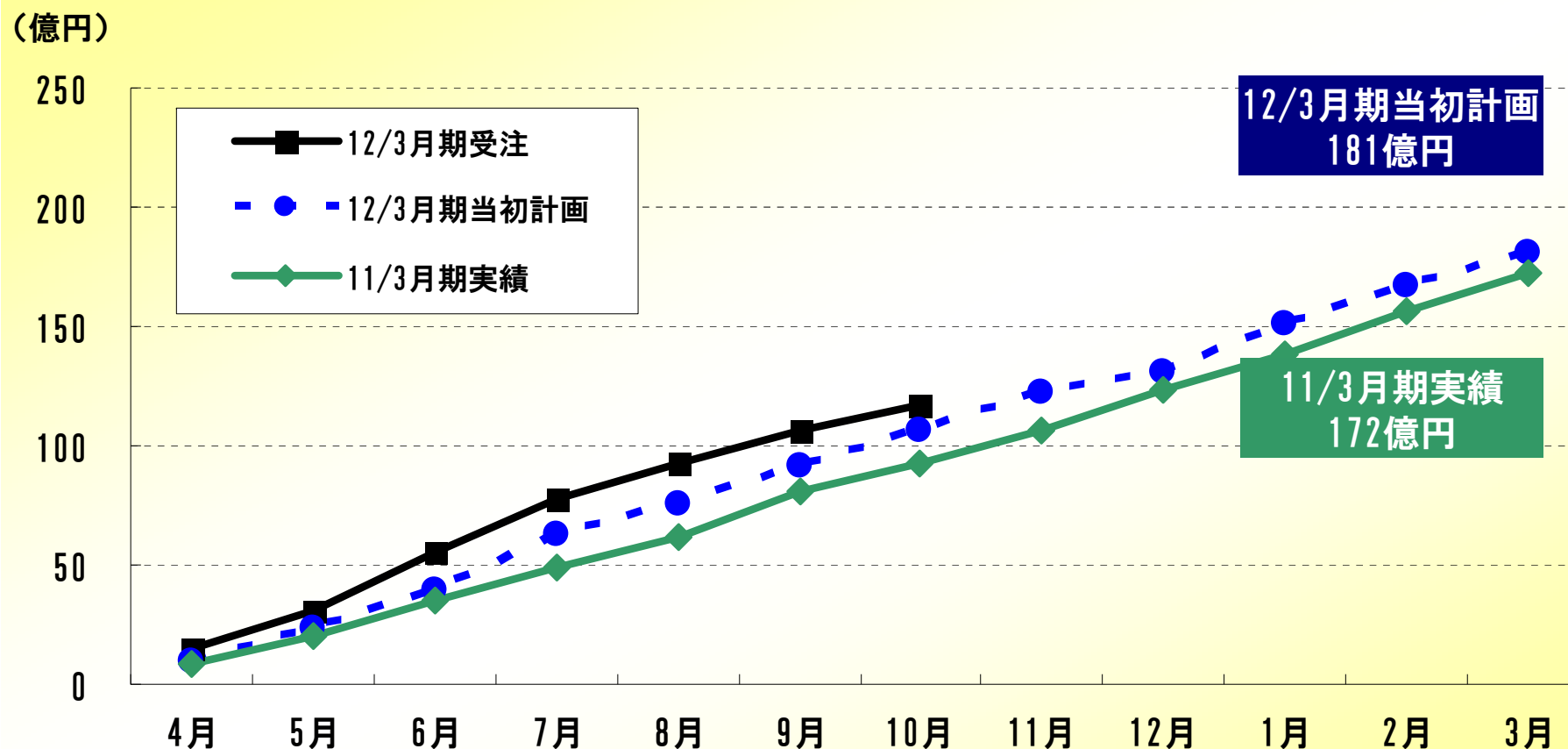
○コメ需給、米価関連

- ・ 民間在庫：本年6月末182万トン 前年同月比△34万トン（△16%）
- ・ 需要：2010年7月～2011年6月：818.7万トン（前年同期比＋4.6万トン 3年ぶりに増加）
- ・ 米価：H22年産の銘柄米を中心に卸価格も上昇基調。
- ・ コメ先物取引の試験上場（8月）

○農業再生案（中間提言の主な戦略、今後5年間で集中展開）

- ・ 攻めの担い手実現：新規就農強化、経営規模に応じた教育
- ・ 規模拡大の加速：農地集約（平地20-30ha、中山間地10-20ha）
- ・ 6次産業化支援のための農業法人等への資本増強ファンドの創設

海外製品売上の直近の状況



*12/3期受注 : 4-7月は出荷実績、8-10月は受注ベース

海外市場の動向（北米）

1. 北米コンパクトトラクタ市場 ※インゲン50PS (PTO40PS) 以下、芝刈機は含まない。 (単位：千台) *計数は四捨五入表示で無調整

	10/ 1~7月	11/ 1~7月	前年同期比	
			増減	伸長率
米国	55	54	△ 1	99%
カナダ	7	7	0	106%
北米 計	61	61	△ 0	100%

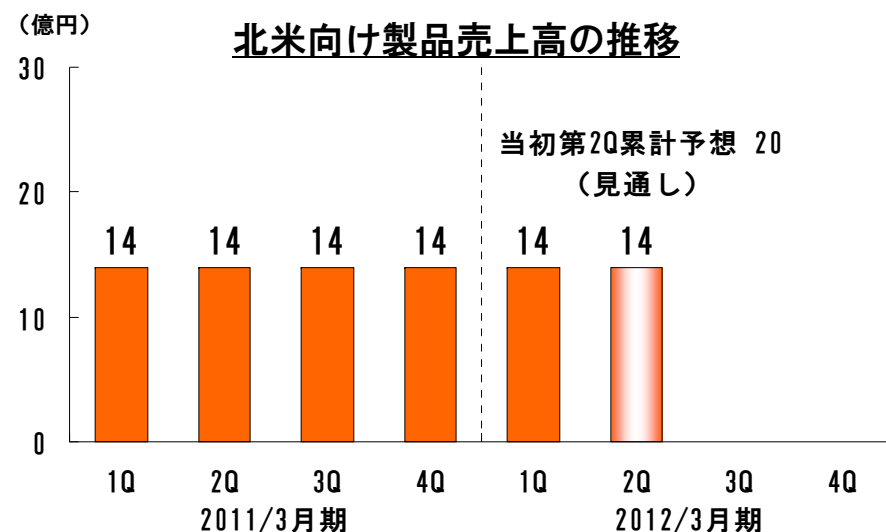
AEMは2011年需要の伸びを
年間+2.7%と予測

出所：AEM統計（米国機器製造者団体：Association of Equipment Manufacturers）

- ・米国景気は個人消費、住宅着工件数も低迷し不安定で減速感強まる。

2. 当社の状況

- ・OEM取引先であるアグコ社の1~7月の実売は前年を下回る水準で推移。
- ・当社の出荷は、上期は前年と同水準で、当初予想(20億円)に対しては上回る見通し。



海外市場の動向（欧州）

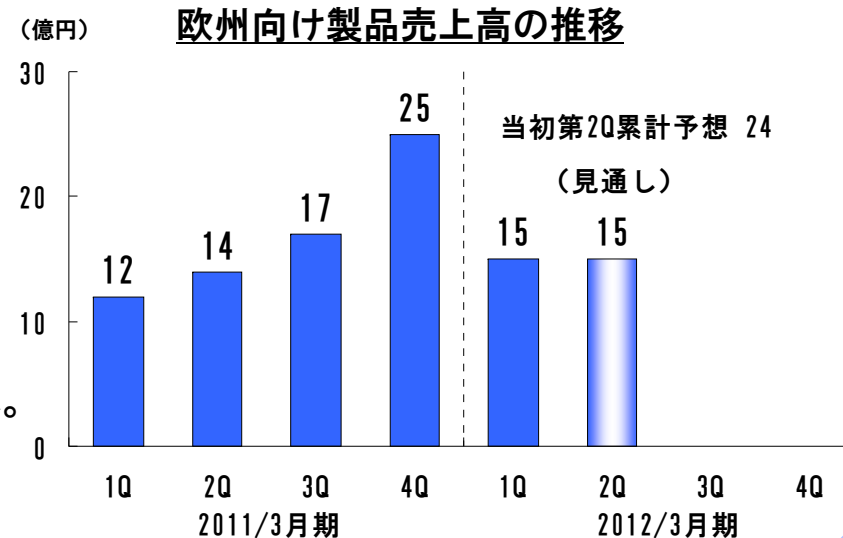
1. 欧州市場の動向

地域格差があるものの、昨年後半から景気は緩やかに回復。⇒ 市場動向に反映。

- ・ドイツは好調を継続、フランスも回復基調。
- ・南欧は依然として景気回復が遅れ、不安定。

2. 当社の状況

- ・当社の主力商品は、景観整備市場におけるプロ向け商品であるため、一般経済や地方自治体の財政状況の影響を受けやすく、昨年は低調。
- ・欧州代理店の実売は、堅調に回復し、1-5月では前年と同水準まで回復。
- ・当社の出荷も実売の回復をうけて堅調に推移し、上期は前年、当初予想(24億円)ともに上回る見通し。



海外市場の動向（アジア、中国）

1. アジア市場の動向

韓国 : 日本メーカーにとって、ウォン安、韓国メーカーの巻き返しにより、厳しい状況
東南アジア : 稲作機械の動きはスロー

当社の状況

- ・ 為替悪化や競合メーカー等の伸長により、上期は前年比減少、ほぼ当初予想(1億円)通りの見通し。

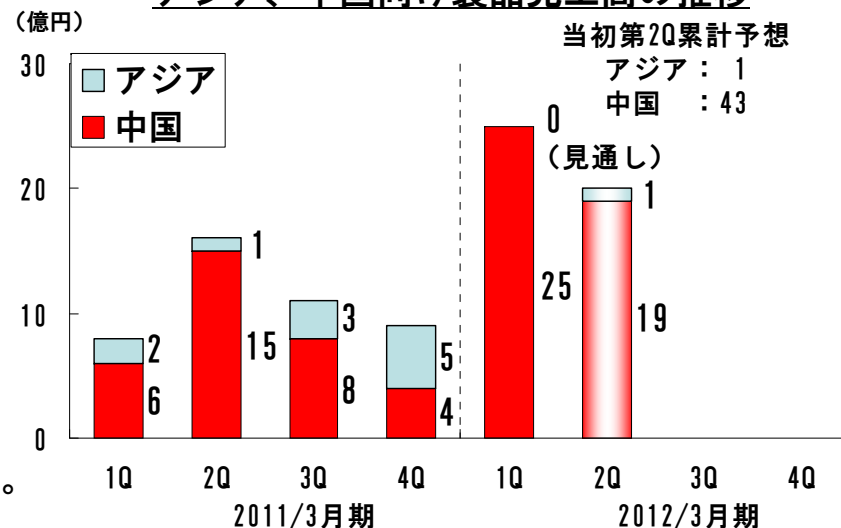
2. 中国市場の動向

- ・ 農機市場の拡大が続く

当社の状況

- ・ 田植機が大幅増、上期は当初予想(43億円)を上回る見通し。

アジア、中国向け製品売上高の推移



◇井関常州 実売台数推移

	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年 当初計画
コンバイン	150	220	300	470	840	624	430
田植機	0	120	1,110	1,620	3,250	4,841	7,000
歩行型	-	50	790	1,100	2,450	3,661	4,000
乗用型	-	70	320	520	800	1,180	3,000

◇中国市場 売上高推移

	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年 当初計画
中国	5	7	13	19	35	33	53
海外売上計	205	188	220	231	181	191	200

海外市場の動向（中国）

1. 中国農業機械化率目標

	2010年	2015年	2020年
移植機	20%	45%	60%
収穫機	55%	80%	85%

2. 農業促進補助金推移

（億元）

	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年
中央政府補助金	20	40	130	155	175
（億円 元:13円）	260	520	1,690	2,015	2,275

3. 国務院発表（2011年）の方針（補助金）

- ・ 重点作物（菜種、綿花、トウモロコシ、サトウキビなど）
- ・ 水稻育苗、移植技術、機械化の遅れている地域、稲作機械化一貫体系モデル地区等に政策的に資金を配分、投入して、農業の生産性の向上と生産拡大

4. 営農組合での稲作一貫体系モデル農場設立の動きと井関の対応

- ・ 江蘇省金壇市モデル営農組合「金壇井関大自然営農組合」設立へ参加
- ・ トラクタ、田植機、コンバイン、籾摺り機、精米機、野菜移植機などを農場に貸与

中国の農業政策にそって、高性能、高能率田植機、現地適応性の高い製品などの商品化推進

東風井関農業機械(湖北)有限公司の概要

2011年 7月29日 「东风井关农业机械(湖北)有限公司」 出資金払込み

- ◆所在地 湖北省襄陽(シャンヤン)市
- ◆資本金 4,000万 人民元
- ◆出資比率 井関農機 50% 東風実業有限公司 25% 上海嘉華投資有限公司 25%

2011年 8~9月 湖北省襄陽市開発区の新工場
にて量産準備

2011年10月~ 来シーズン用の歩行田植機の生産
開始。7,000台程度生産する計画



- 2012年以降
- ・ 歩行田植機の本格販売
 - ・ 乗用田植機、コンバインの組立・販売
 - ・ 低価格商品(コストダウン) 部品等の調達拠点、および重要生産拠点として井関常州社と共に展開を図る。



3. 2012年3月期 業績予想



トラQ TQ17

2012年3月期 業績予想

(単位：億円)

科 目	10/3期		11/3期		12/3期		前年同期比 増減		12/3期 当初予想		当初予想比 増減	
	2Q累計	通期	2Q累計	通期	2Q累計	通期	2Q累計	通期	2Q累計	通期	2Q累計	通期
売上高	697	1,493	754	1,478	725	1,470	△29	△8	725	1,470	0	0
(国内)	618	1,312	663	1,287	610	1,255	△53	△32	625	1,270	△15	△15
(海外)	79	181	91	191	115	215	+24	+24	100	200	+15	+15
営業利益	25	45	23	28	19	29	△4	+1	19	29	0	0
経常利益	22	36	18	20	17	22	△1	+2	17	22	0	0
当期純利益	16	23	1	△9	10	9	+9	+18	10	9	0	0

※想定為替レートは、米ドル：80円(継続) ユーロ：120円→110円(第2四半期～)

売上高予想(国内)

(単位：億円)

	12/3期				増減		11/3期		増減	
	当初予想		今回予想		2Q累計	通期	2Q累計	通期	2Q累計	通期
	2Q累計	通期	2Q累計	通期						
整地機	154	265	172	285	+18	+20	160	267	+12	+18
栽培機	79	114	72	105	△7	△9	84	116	△12	△11
収穫調製機	72	253	63	242	△9	△11	77	255	△14	△13
農業機械計	305	632	307	632	+2	0	321	638	△14	△6
作業機・部品	164	303	154	294	△10	△9	169	310	△15	△16
施設工事	15	67	16	68	+1	+1	38	87	△22	△19
その他農業関連	140	267	132	260	△8	△7	134	251	△2	+9
農業関連事業計	624	1,269	609	1,254	△15	△15	662	1,286	△53	△32
その他事業	1	1	1	1	0	0	1	1	0	0
合計	625	1,270	610	1,255	△15	△15	663	1,287	△53	△32

売上高予想（海外地域別）

（単位：億円）

	12/3期				増減		11/3期		増減	
	当初予想		今回予想		2Q累計	通期	2Q累計	通期	2Q累計	通期
	2Q累計	通期	2Q累計	通期						
北米	20	44	28	52	+ 8	+ 8	28	56	0	△ 4
欧州	24	68	30	74	+ 6	+ 6	26	68	+ 4	+ 6
アジア	1	11	1	11	0	0	3	11	△ 2	0
中国	43	53	44	54	+ 1	+ 1	21	33	+23	+21
オセアニア	3	5	3	5	0	0	3	4	0	+ 1
製品計	91	181	106	196	+15	+15	81	172	+25	+24
部品その他	9	19	9	19	0	0	10	19	△ 1	0
合計	100	200	115	215	+15	+15	91	191	+24	+24



4. トピックス



Myペット KCR600



震災からの復旧状況

- グループ被災拠点の復旧
 - 東日本部品センターの復旧で東北地区への部品供給が通常体制に（8月～）
 - 原発避難区域3営業所からの撤収作業完了（7月）
- 生産の状況
 - 部品納入遅れにより耕うん機の一部に出荷影響
⇒サプライヤー供給体制の復旧で完全正常化（7月末）
- 電力供給制限への対応
 - 新潟製造所（使用制限）：シフト変更等でピーク電力15%以上削減（7月実績）
 - 東京事務所（努力目標）：サマータイム制導入、ノー残業デー拡大等でピーク電力15%以上削減に目処
- 被災地農業復興支援への取り組み
 - 農地土壌除染技術開発への参画（6月～）
 - 主要事業所の食堂・社員寮で『福島県産米』を使用決定（H23年産米）
 - 福島県の特産品である『桃』のグループ社員向け斡旋販売（8月）



知的財産について

1. 全産業特許査定率と順位

7年連続1位

	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
特許査定率	84.6%	83.7%	90.4%	89.3%	85.8%	88.5%	91.8%
全産業順位	1位	1位	1位	1位	1位	1位	1位

※特許査定率 = 特許査定件数 / (特許査定件数 + 拒絶査定件数 + 取下・放棄件数)

2 分野別公開件数と順位


10年連続1位

	2000年～2006年	2007年	2008年	2009年
分野	農水産	*その他の特殊機械		
順位	7年連続 1位	1位	1位	1位

※ 2009年版から分野編成が変更され、農水産分野は「その他の特殊機械分野」に包含された。

出典：特許庁6月30日公表「特許行政年次報告書2011年版」

3. = 技術のキセキ

・特許技術を商品に織込み、他社にない井関独自の機能に  を表示。
新商品を武器に下期拡販を図る。

- ・トラクタ：ATKシリーズ、TQシリーズ ・コンバイン：HFC433 & 330
- ・田植機：PZ3シリーズ ・管理機：KCRシリーズ

将来の見通しに関する記述についての注意

- ・本資料は、情報提供を目的として作成しており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。
- ・本資料は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が作成したものでありますが、潜在的リスクや不確実性が含まれており、経済情勢や市場動向の変化等により実際の結果と必ずしも一致するものではありません。
- ・ご利用に際しては、ご自身の判断でお願い致します。
本資料に掲載している業績予想や目標数値に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。



安心を、未来へつなぐ食料自給率1%アップ運動
FOOD ACTION NIPPON

井関グループは FOOD ACTION NIPPON の推進パートナーです。